

ごみは意外に雄弁だ

京都大学大学院地球環境学堂

京都超SDGsコンソーシアム

浅利美鈴

mezase530@gmail.com

ごみ研究

2021年7月19日より日経新聞にて10回連載

やさしい
経済学

ごみ削減を考える ①

京都大学准教授 浅利 美鈴



家庭ごみ(40年間続く調査)



食品ロス

災害廃棄物



プラスチックごみ、世界のごみ



家庭ごみ細組成調査

京都市と京都大学が1980年から開始



「ごみ」とは？

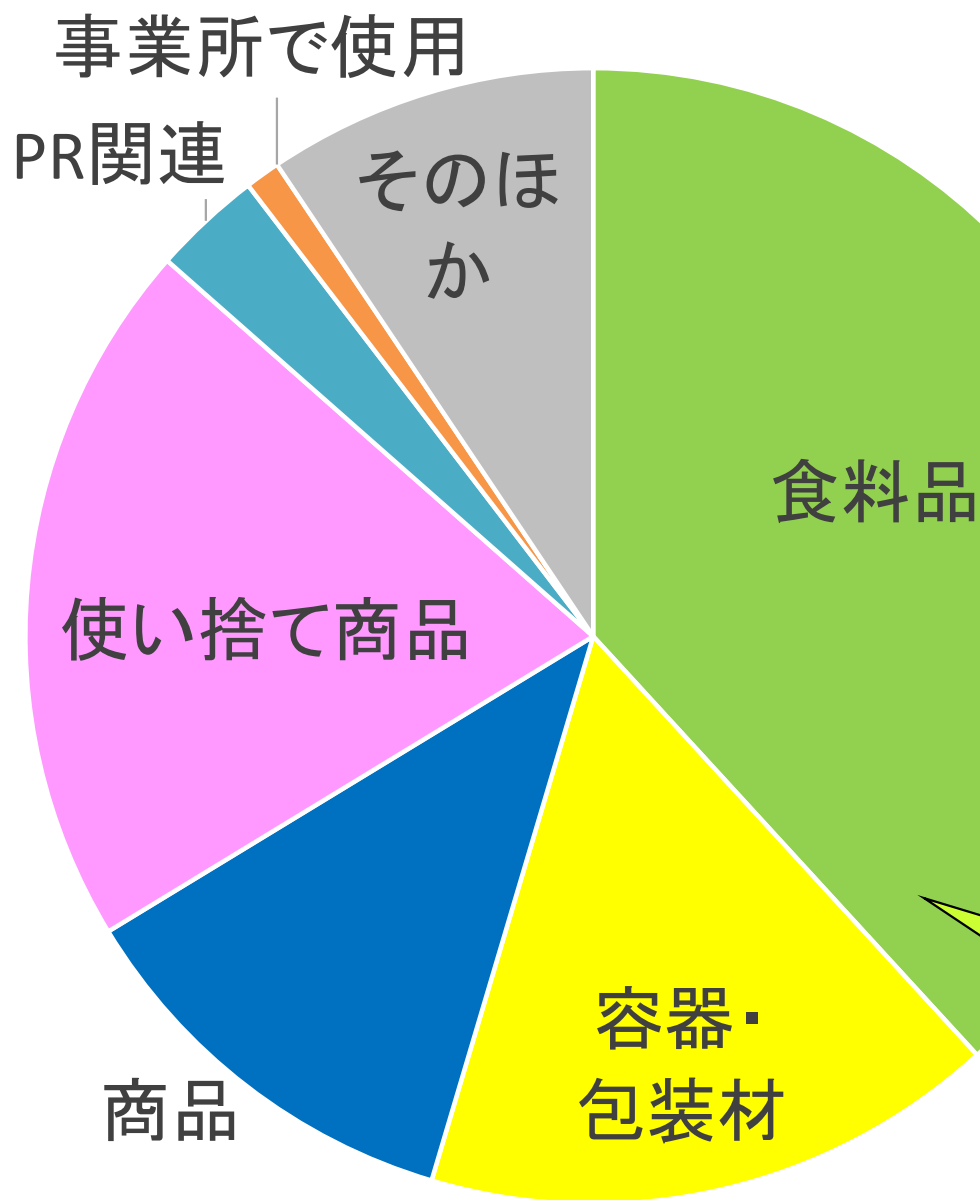
- 辞書等 「泥。その場所をよごしている、役に立たない、きたないもの。」
- 廃棄物処理法 「自ら利用したり他人に売ったりできないため不要になったもの」



不要で価値がないと思われて捨てられたもの

※必要性や価値の判断は人によって異なり、環境や状況、時代によっても変わる。

「家庭ごみ(燃やすごみ)」の重量内訳

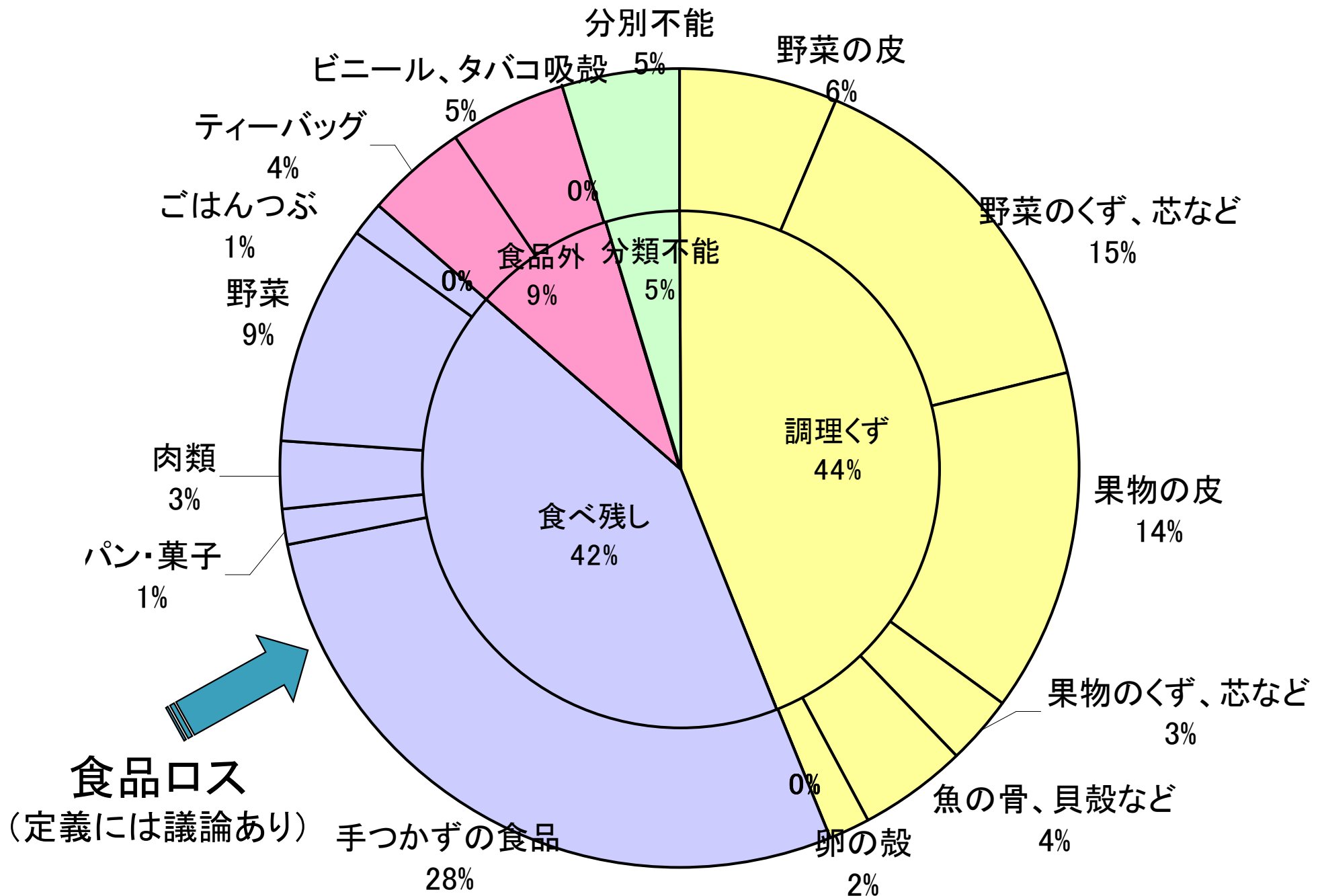


• 湿重量の約20%が「使い捨て商品」・・・ティッシュや紙ふきん、使い捨てライター、ストロー、割り箸、カイロ、紙おむつなど

• 「もったいないごみ」も・・・食品ごみの中でも、まったく手がつけられていない食べ物、まだまだ着られる服など

• 家庭ごみでは、「食料品」や「紙」などのバイオマスが、残された課題といえる

「食品ごみ」の内訳 (H19京都市)



残飯による
食生活の損失
11.1兆円

÷

農業・水産業の
総生産額
12.4兆円

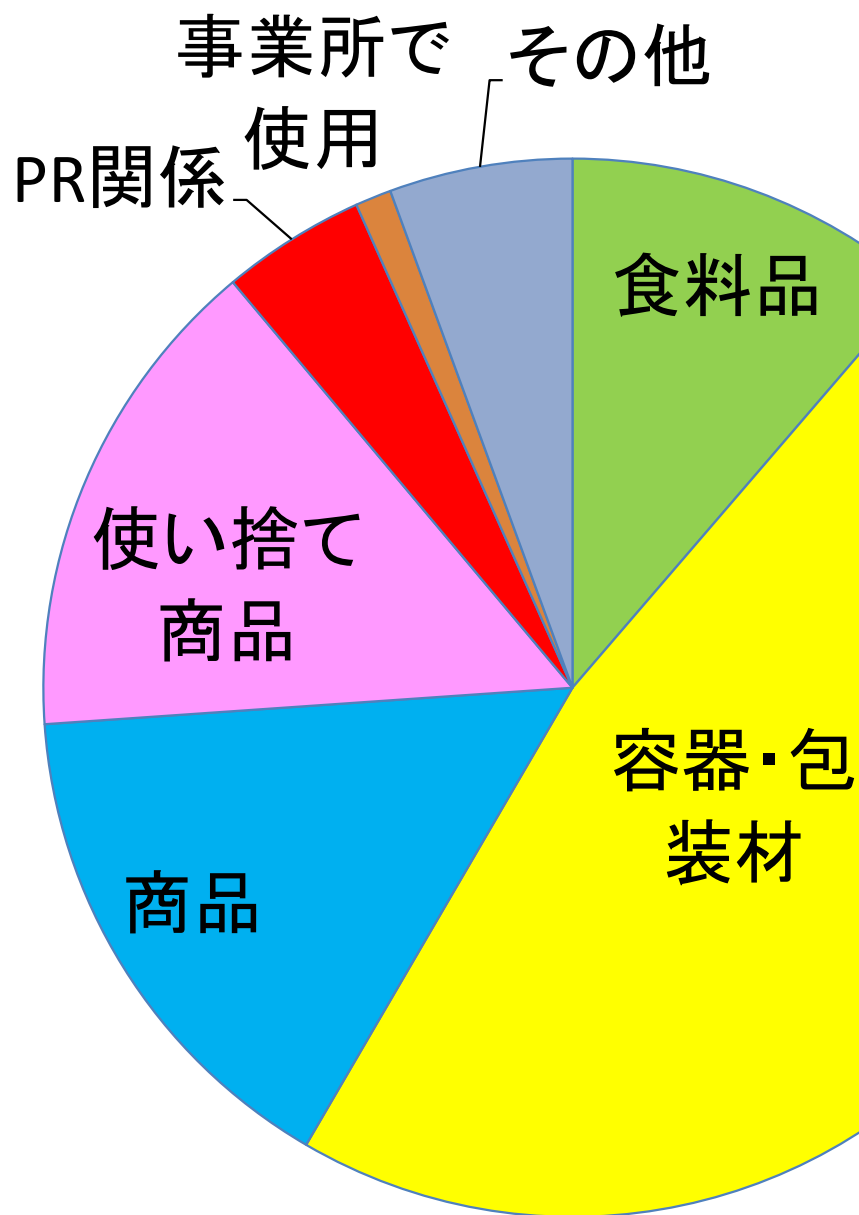


現代の食物事情

High Noon

作者註：筆者の推定では年間700万tの残飯が発生していると思われる。

「家庭ごみ(燃やせるごみ)」の容積内訳

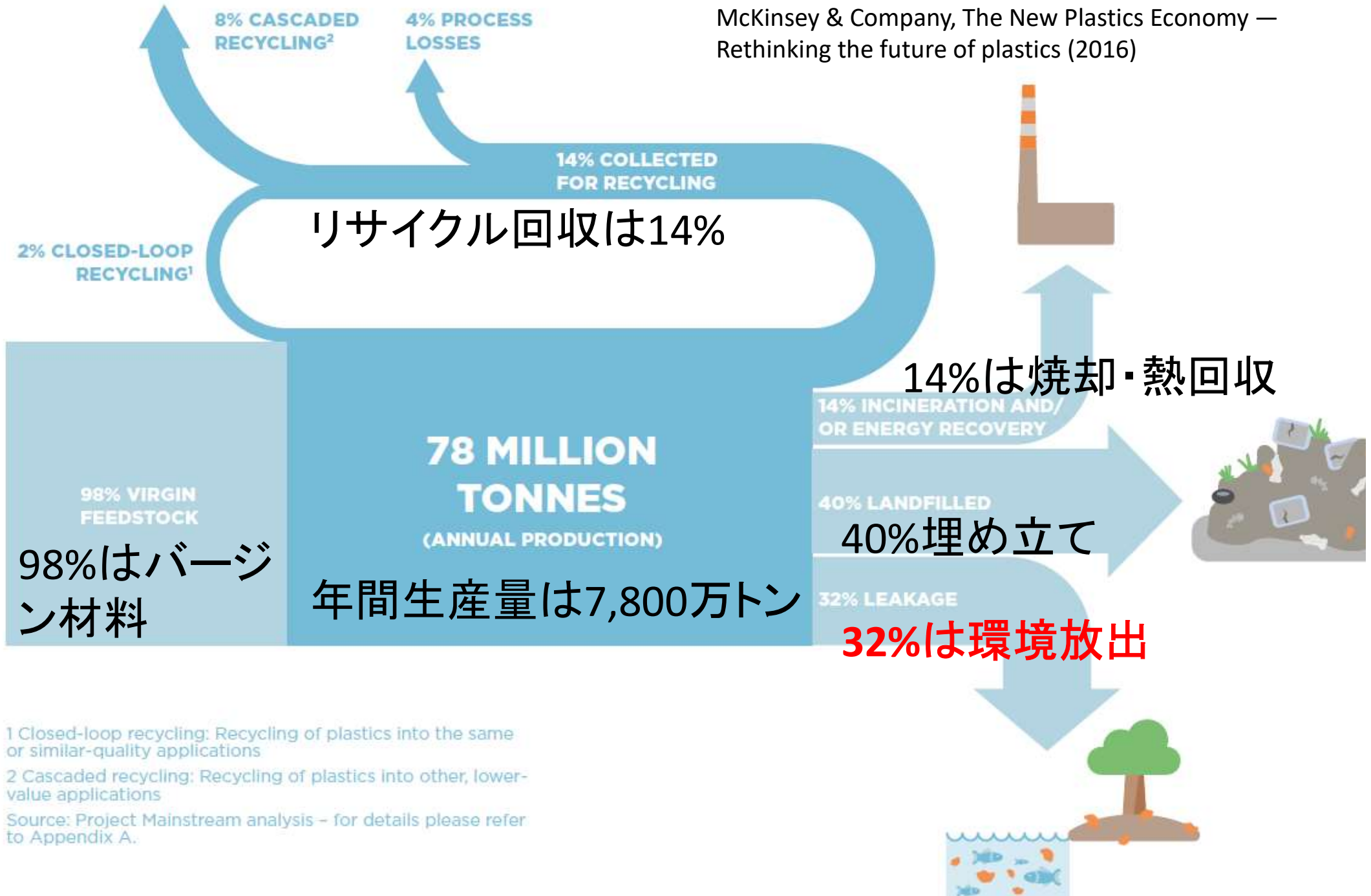


- 容積の約50%は「容器包装材」
- 特に、レジ袋は、いまだに、ごみ全体の数%を占める

レジ袋
プラスチック製の袋
プラスチック製のトレイ類
飲料用ペットボトル
紙パック
ダンボール箱
包装紙など

世界のプラスチック容器包装フロー (2013年)

World Economic Forum, Ellen MacArthur Foundation and McKinsey & Company, The New Plastics Economy — Rethinking the future of plastics (2016)

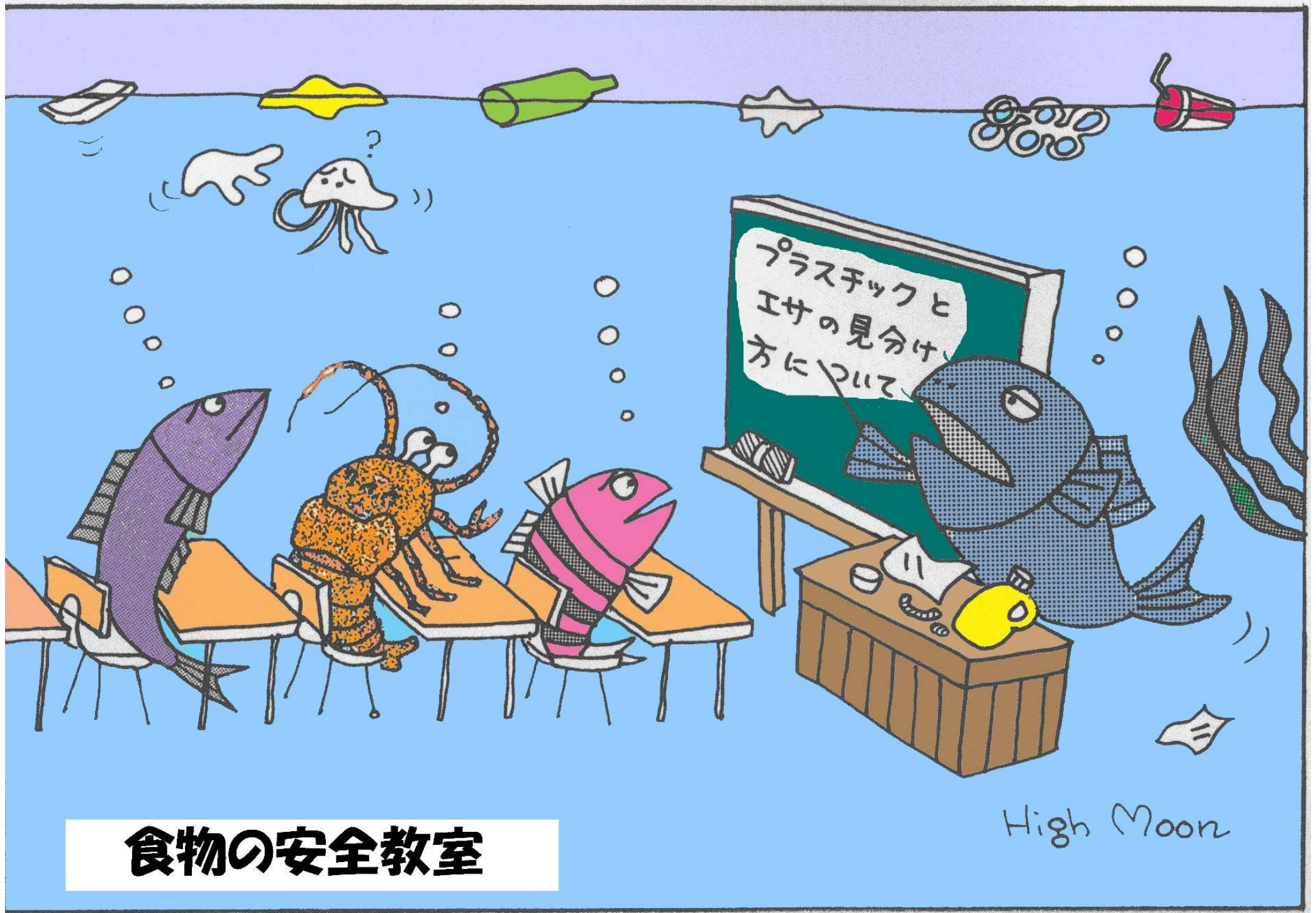


1 Closed-loop recycling: Recycling of plastics into the same or similar-quality applications

2 Cascaded recycling: Recycling of plastics into other, lower-value applications

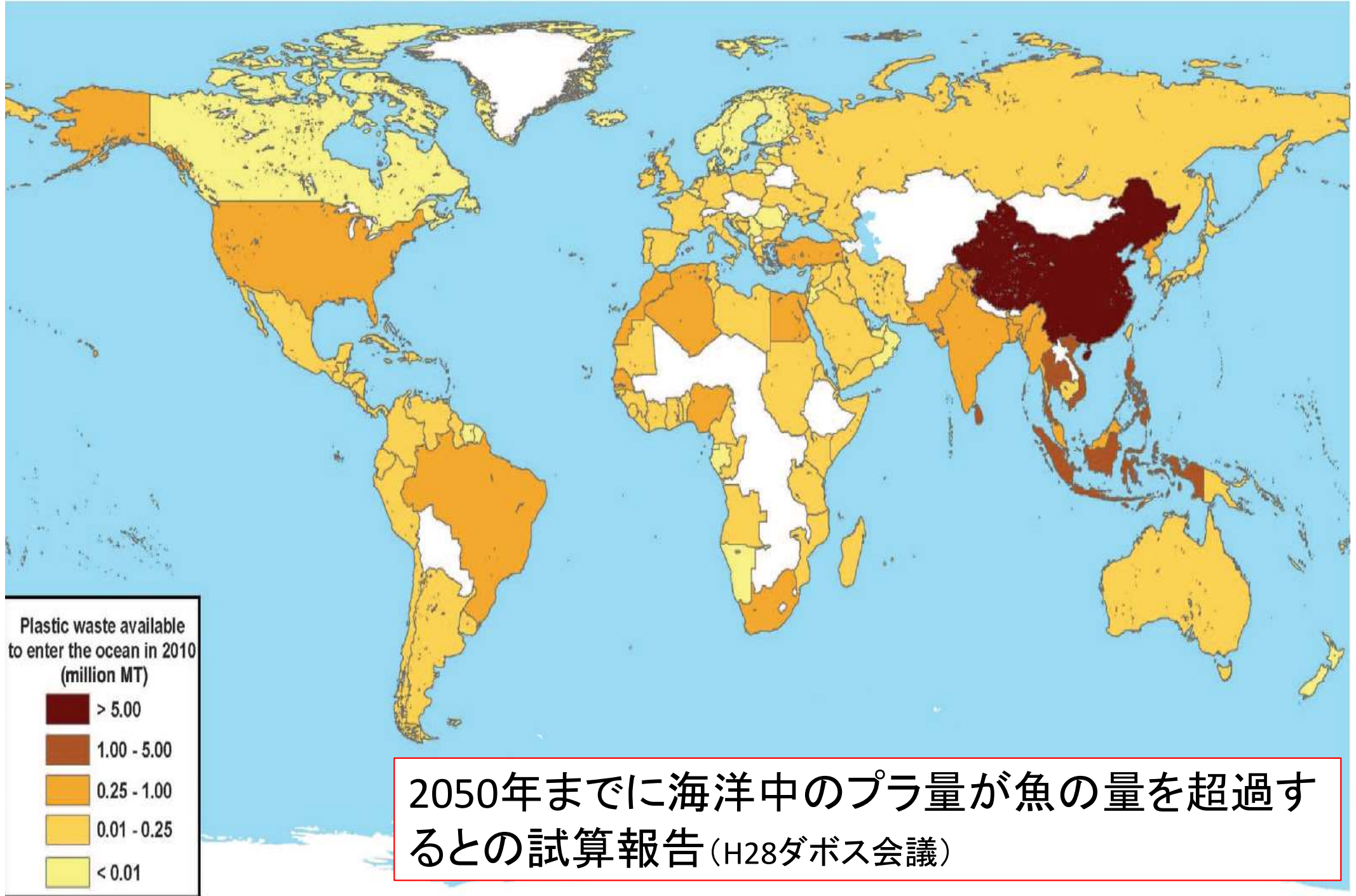
Source: Project Mainstream analysis – for details please refer to Appendix A.

1990年から1993年の間に描かれたもの！



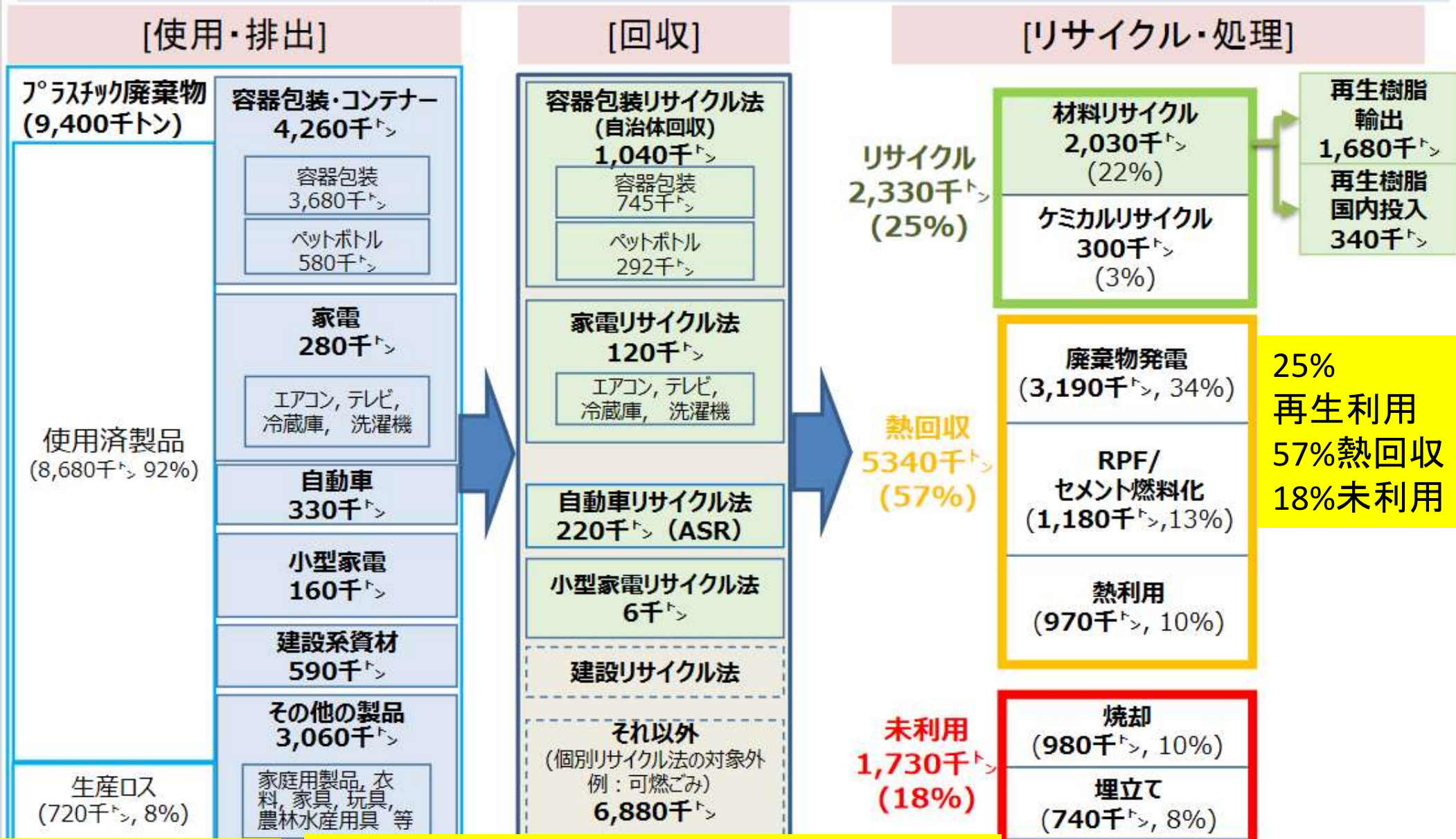
食物の安全教室

世界の海ごみ発生推計量 Jambeckら (2017)



日本のプラスチックフロー（2013年）

- プラスチック廃棄物 = 9.4百万トン/年（全廃棄物（431百万トン）の2%）
- リサイクル率 = 24.8%, リサイクル+熱回収率 = 81.6%



約900万トン リサイクル法回収約200万トン

背景

- ◆ 廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題
- ◆ 我が国は国内で適正処理・3Rを率先し、国際貢献も実施。一方、世界で2番目の1人当たりの容器包装廃棄量、アジア各国での輸入規制等の課題

重点戦略

基本原則：「3R+Renewable」

【マイルストーン】

リデュース等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化等の「価値づけ」) ▶ 石油由来プラスチック代替品開発・利用の促進 	<p>＜リデュース＞</p> <p>① 2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制</p> <p>＜リユース・リサイクル＞</p> <p>② 2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに</p> <p>③ 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル</p> <p>④ 2035年までに使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用</p> <p>＜再生利用・バイオマスプラスチック＞</p> <p>⑤ 2030年までに再生利用を倍増</p> <p>⑥ 2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入</p>
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ▶ プラスチック資源の分かりやすく効果的な分別回収・リサイクル ▶ 漁具等の陸域回収徹底 ▶ 連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化 ▶ アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築 ▶ イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム 	
再生材 バイオプラ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用ポテンシャル向上（技術革新・インフラ整備支援） ▶ 需要喚起策（政府率先調達（グリーン購入）、利用インセンティブ措置等） ▶ 循環利用のための化学物質含有情報の取扱い ▶ 可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用 ▶ バイオプラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入 	
海洋プラスチック対策	<p>プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと（海洋プラスチックゼロエミッション）を目指した</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理 ▶ 海岸漂着物等の回収処理 ▶ 海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化) ▶ マイクロプラスチック流出抑制対策(2020年までにスクラブ製品のマイクロビーズ削減徹底等) ▶ 代替イノベーションの推進 	
国際展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 途上国における実効性のある対策支援（我が国のソフト・ハードインフラ、技術等をオーダーメイドパッケージ輸出で国際協力・ビジネス展開） ▶ 地球規模のモニタリング・研究ネットワークの構築（海洋プラスチック分布、生態影響等の研究、モニタリング手法の標準化等） 	
基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会システム確立（ソフト・ハードのリサイクルインフラ整備・サプライチェーン構築） ▶ 技術開発（再生可能資源によるプラ代替、革新的リサイクル技術、消費者のライフスタイルのイノベーション） ▶ 調査研究（マイクロプラスチックの使用実態、影響、流出状況、流出抑制対策） ▶ 連携協働（各主体が一つの旗印の下取組を進める「プラスチック・スマート」の展開） ▶ 資源循環関連産業の振興 ▶ 情報基盤（ESG投資、エシカル消費） ▶ 海外展開基盤 	

- ◆ アジア太平洋地域をはじめ世界全体の資源・環境問題の解決のみならず、**経済成長**や**雇用創出** ⇒ **持続可能な発展**に貢献
- ◆ **国民各界各層との連携協働**を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、**必要な投資やイノベーション（技術・消費者のライフスタイル）**を促進

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の概要

製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組（3R+Renewable）を促進するための措置を講じます。

■ 背景

- 海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内における**プラスチックの資源循環**を一層促進する重要性が高まっている。
- このため、多様な物品に使用されているプラスチックに関し、**包括的に資源循環体制を強化**する必要がある。

■ 主な措置内容

1. 基本方針の策定

- プラスチックの資源循環の促進等を**総合的かつ計画的**に推進するため、以下の事項等に関する**基本方針**を策定する。
 - プラスチック廃棄物の排出の抑制、再資源化に資する環境配慮設計
 - ワンウェイプラスチックの使用の合理化
 - プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化 等

2. 個別の措置事項

設計
・
製造

【環境配慮設計指針】

- 製造事業者等が努めるべき**環境配慮設計に関する指針**を策定し、指針に適合した製品であることを**認定**する仕組みを設ける。
 - 認定製品を**国が率先して調達**する（グリーン購入法上の配慮）とともに、リサイクル材の利用に当たっての**設備への支援**を行う。



＜付け替えボトル＞

販売
・
提供

【使用の合理化】

- ワンウェイプラスチックの提供事業者（小売・サービス事業者など）が取り組むべき**判断基準**を策定する。
 - 主務大臣の**指導・助言**、ワンウェイプラスチックを多く提供する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。



＜ワンウェイプラスチックの例＞

排出
・
回収
・
リサイクル

【市区町村の分別収集・再商品化】

- プラスチック資源の分別収集を促進するため、**容リ法ルートを活用した再商品化**を可能にする。
 - 主務大臣が認定した場合に、市区町村による**選別、梱包等を省略**して再商品化事業者が実施することが可能に。



＜プラスチック資源の例＞

【製造・販売事業者等による自主回収】

- 製造・販売事業者等が製品等を**自主回収・再資源化**する計画を作成する。
 - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。



＜店頭回収等を促進＞

【排出事業者の排出抑制・再資源化】

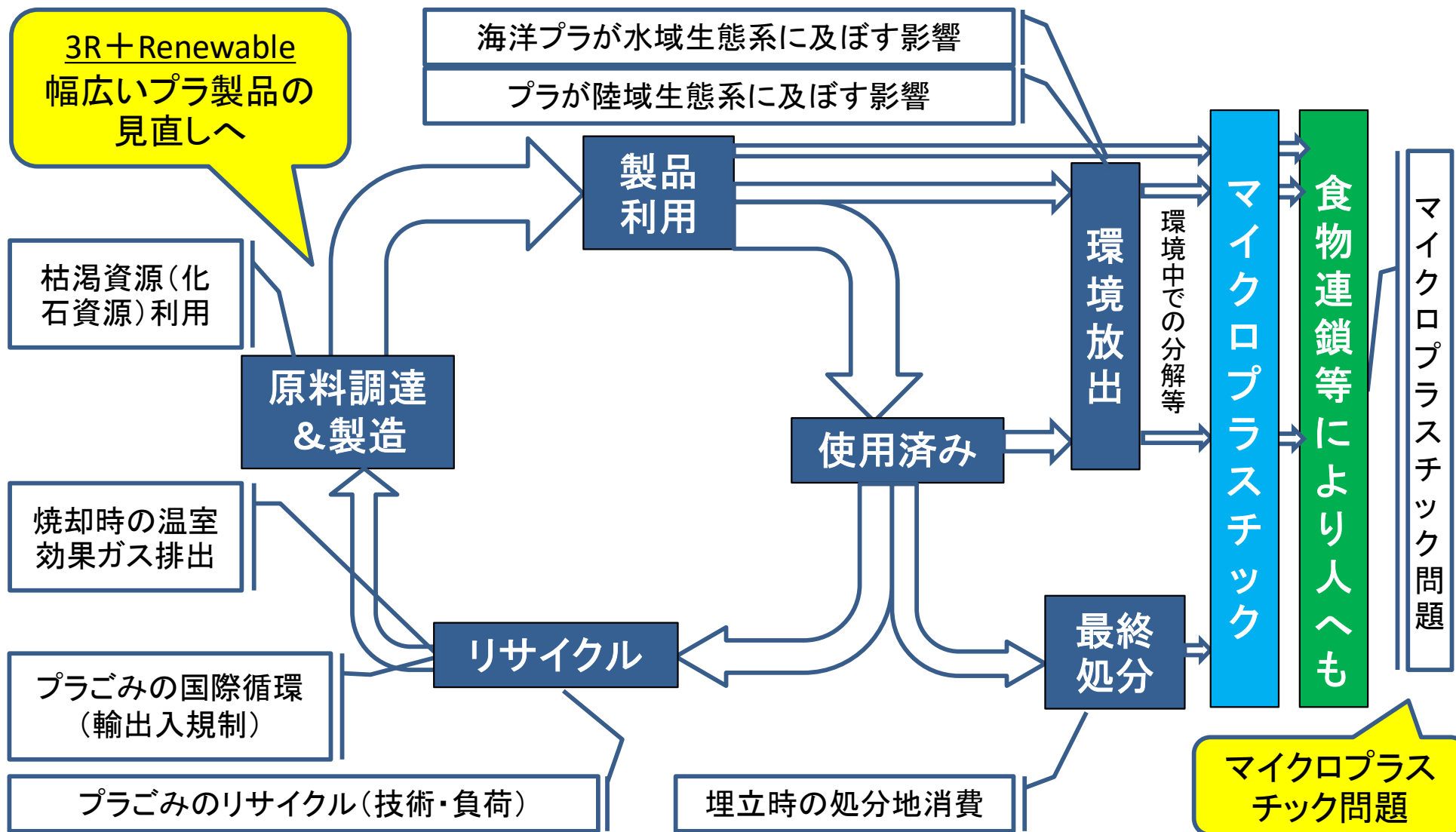
- 排出事業者が排出抑制や再資源化等の取り組むべき**判断基準**を策定する。
 - 主務大臣の**指導・助言**、プラスチックを多く排出する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。
- 排出事業者等が**再資源化計画**を作成する。
 - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

↓：ライフサイクル全体でのプラスチックのフロー

▽：施行期日：公布の日から1年以内で政令で定める日

資源循環の高度化に向けた環境整備・循環経済（サーキュラー・エコノミー）への移行

プラスチック問題の論点



プラスチックについて ～京大プラ・イド宣言～

2019年春 学内プラ対策の検討開始
(脱レジ袋、ストロー、PETボトル??)



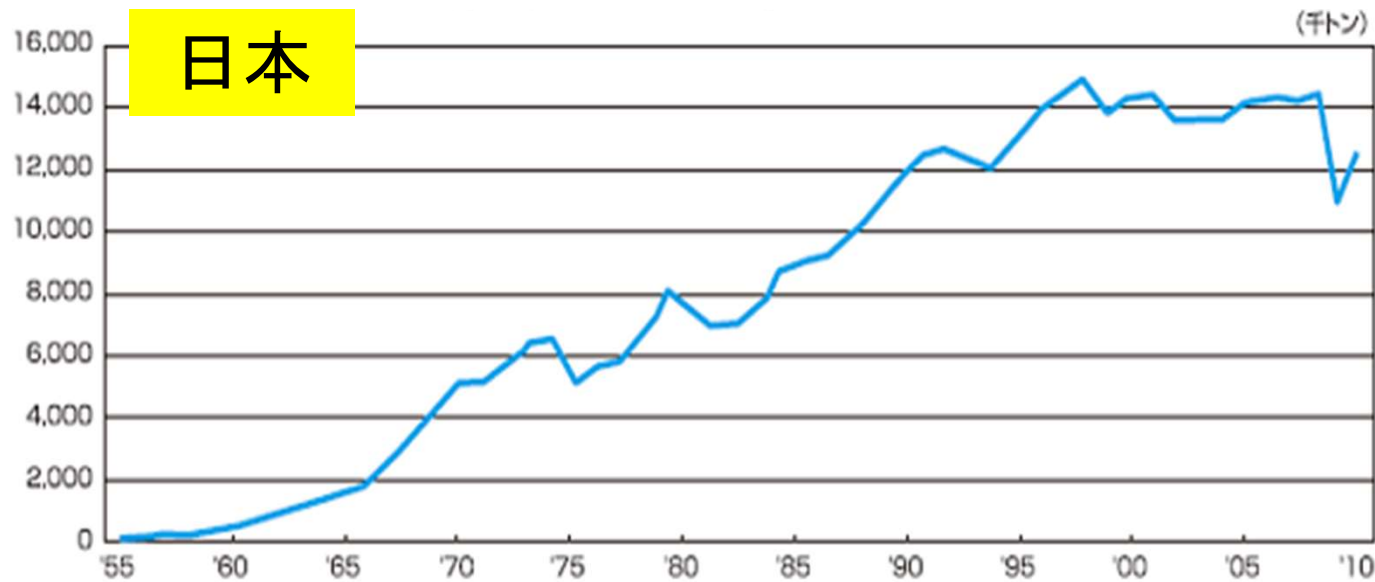
プラスチックのこと、もっと知りたい！



2019年6月 京大プラ・イド宣言

- 考え行動する宣言
- 「かばんの中プラ」キャンペーン
- 京都大学プラ・イドチャートの提案
- プラ・イド革命(できることからアクション)

プラスチック生産量の経年変化



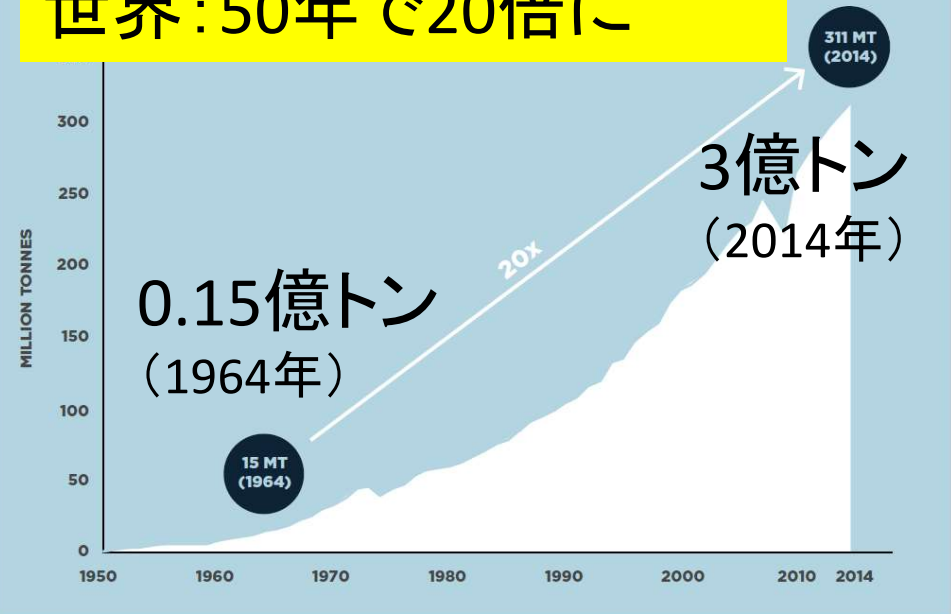
1,400万トン
(0.14億トン)

GLOBAL PLASTICS PRODUCTION 1950-2014

日本プラスチック工業連盟

http://www.jpif.gr.jp/2hello/conts/toukei_c.htm

世界: 50年で20倍に



World Economic Forum, Ellen MacArthur Foundation and McKinsey & Company, The New Plastics Economy — Rethinking the future of plastics (2016)

Note: Production from virgin fossil-based feedstock only (does not include bio-based, greenhouse gas-based or recycled feedstock)

Source: PlasticsEurope, *Plastics – the Facts 2013* (2013); PlasticsEurope, *Plastics – the Facts 2015* (2015).

プラスチックの種類と使用例

プラスチックの名前	略号	使われているもの	性質
ポリカーボネート	PC	CD、携帯電話など	透明で、熱に強い
アクリル樹脂	PMMA	メガネやコンタクトレンズなど	透明で、強い
ポリアミド	PA	ファスナー、レトルト食品袋など	丈夫、酸素を通さない
ポリプロピレン	PP	台所用品、クルマの部品	熱に強く、艶がある
低密度ポリエチレン	LDPE	ポリ袋、食器容器など	軽く、薬品に強い
高密度ポリエチレン	HDPE	バケツ、パイプ、網など	衝撃に強い
ポリスチレン	PS	コンピュータ、テレビの外側など	透明で、堅い
AS樹脂	SAN	調味料容器、使い捨てライターなど	透明で、傷つきにくい
ABS樹脂	ABS	家具、パソコンなど	不透明、熱に強い
塩ビ	PVC	手袋、コード、フィルムなど	燃えにくく、丈夫
ポリエチレンテレフタレート	PET	ペットボトル、卵のパックなど	透明で強い

京都大学プラ・イド宣言

～減らしながら考え、考えて減らす。～

プラスチック問題の本質は何なのか？

レジ袋やストローだけが問題なのか？

なぜみんなの意識・行動が揃わないのか？

プラスチックを減らす動きの源流となるよう
徹底的に考え、議論し、行動してゆくことを

京大生が、いま、ここで、宣言します。

プラスチックとの持続可能な付き合い方を考える。

そのために...

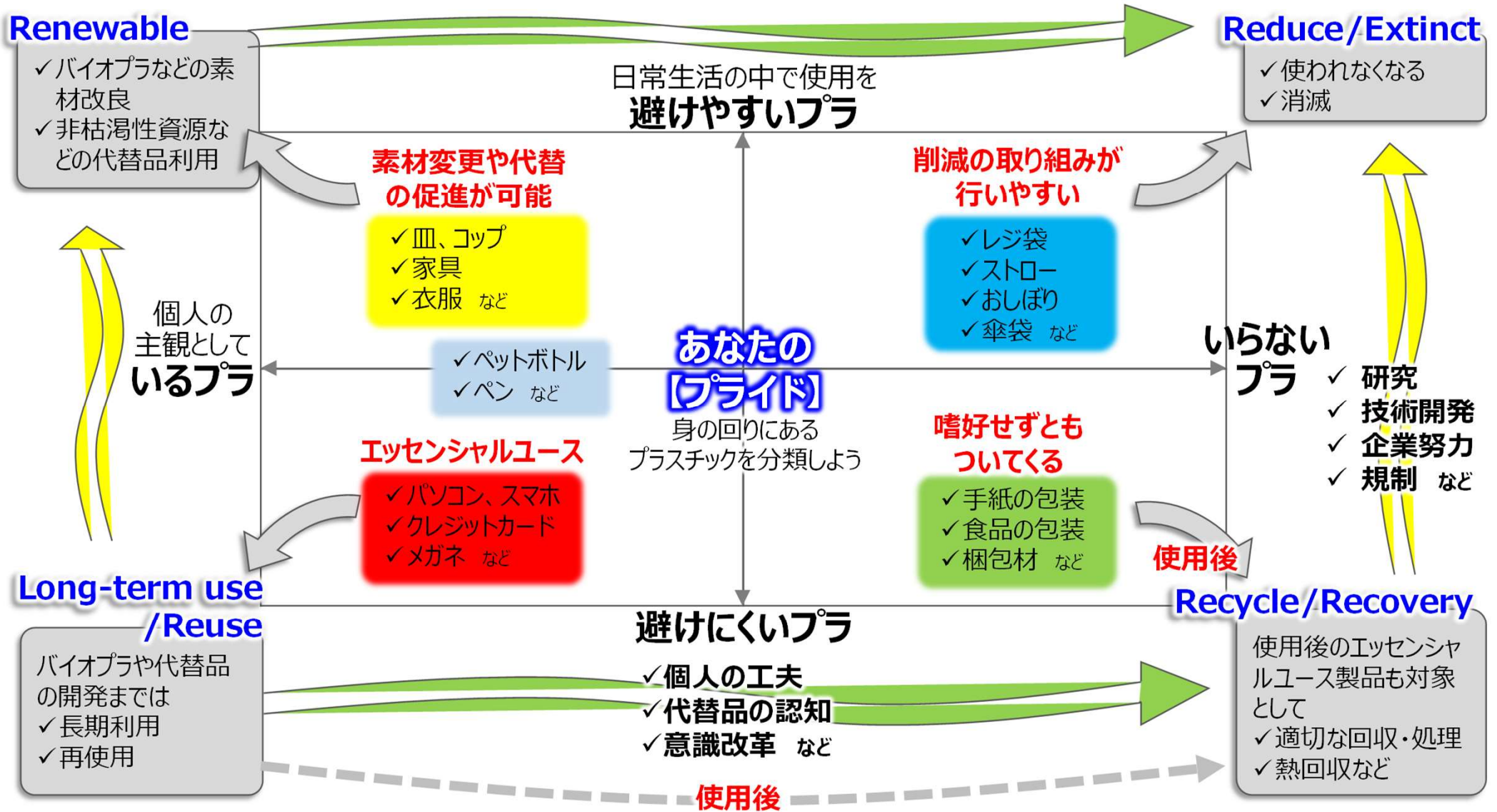
○プラスチックの複雑性と多面性をできるだけ多くの人に認識してもらいます。

⇒かばんの中のプラ、プラ・イドチャート

○京都大学で、学生と教職員で動き始めます。⇒革命

京大式プラチャート「プラ・イド (Plide)」

Ver.1 個人の主観・認識レベルを可視化する



社会の中で主観的に
避けられるプラ



削減の取り組みが
行いやすい

- ✓ レジ袋
- ✓ フィルムケ-ス
- ✓ ストロー
- ✓ おしぼり
- ✓ 傘袋
- ✓ CD
- ✓ 硬貨ロール
- ✓ 輪ゴム
- ✓ 小売店でもらう割りばしの袋
- ✓ DVD
- ✓ 紙コップ飲料のフタ
- ✓ ラップ



いら
ない
プラ

避けられないプラ

- ✓ お菓子の袋
- ✓ 学生証カバー
- ✓ ポケットティッシュ
- ✓ 通帳
- ✓ 通帳カバー
- ✓ 名札ケース
- ✓ 雑誌の袋
- ✓ DMの包装
- ✓ 封筒の窓
- ✓ 広告のマグネット
- ✓ 雨の日の新聞
- ✓ レシート（感熱紙の顕色剤）
- ✓ 過剰包装



嗜好せずとも
ついてくる

素材変更や代替
の促進が可能

- ✓ ポイントカード
- ✓ 筆箱
- ✓ ヘアゴム
- ✓ ペン
- ✓ ファイル
- ✓ マスク
- ✓ 靴
- ✓ 充電器
- ✓ 証明写真
- ✓ かゆみ止め
- ✓ 水筒
- ✓ うちわ
- ✓ キーホルダー
- ✓ 衣類
- ✓ くし
- ✓ 定規
- ✓ ステ-プラー
- ✓ はさみ
- ✓ エコバッグ
- ✓ 下敷き
- ✓ 朱肉
- ✓ 懐中電灯
- ✓ 緩衝材
- ✓ 人工芝
- ✓ 農業ハウス
- ✓ インク
- ✓ 印鑑
- ✓ 植木鉢
- ✓ コップ
- ✓ 計量カップ
- ✓ 自転車
- ✓ カップ麺
- ✓ 皿
- ✓ ペットボトル
- ✓ ごみ箱
- ✓ 髭剃り

個人の
主観として
いるプラ



エッセンシャルユ-ス

- ✓ PC、基板
- ✓ マウス
- ✓ クレジットカード
- ✓ 関数電卓
- ✓ スマホ
- ✓ 電子辞書
- ✓ 眼鏡
- ✓ 腕時計
- ✓ ストップウォッチ
- ✓ イヤホン
- ✓ 傘
- ✓ 扇風機
- ✓ ペットボトル
- ✓ 修正テープ
- ✓ ハンドクリーム
- ✓ USB
- ✓ スマホフィルム
- ✓ 目薬
- ✓ 消しゴム
- ✓ 拡大鏡
- ✓ ハブラシ
- ✓ 綿棒
- ✓ モバイルバッテリー
- ✓ リップ
- ✓ ピアス
- ✓ プリクラ
- ✓ コンタクトレンズ
- ✓ スポンジ
- ✓ 医療機器
- ✓ 電線被膜
- ✓ 水道管
- ✓ 実験器具
- ✓ スマホ
- ✓ ヘルメット
- ✓ オムツ
- ✓ 軟式ボール
- ✓ ピンポン玉
- ✓ カメラ
- ✓ ごみ袋
- ✓ 絆創膏



原 著

プラスチック製品に対する消費者意識・行動の可視化ツール
ープラ・イドチャートの提案と意義について

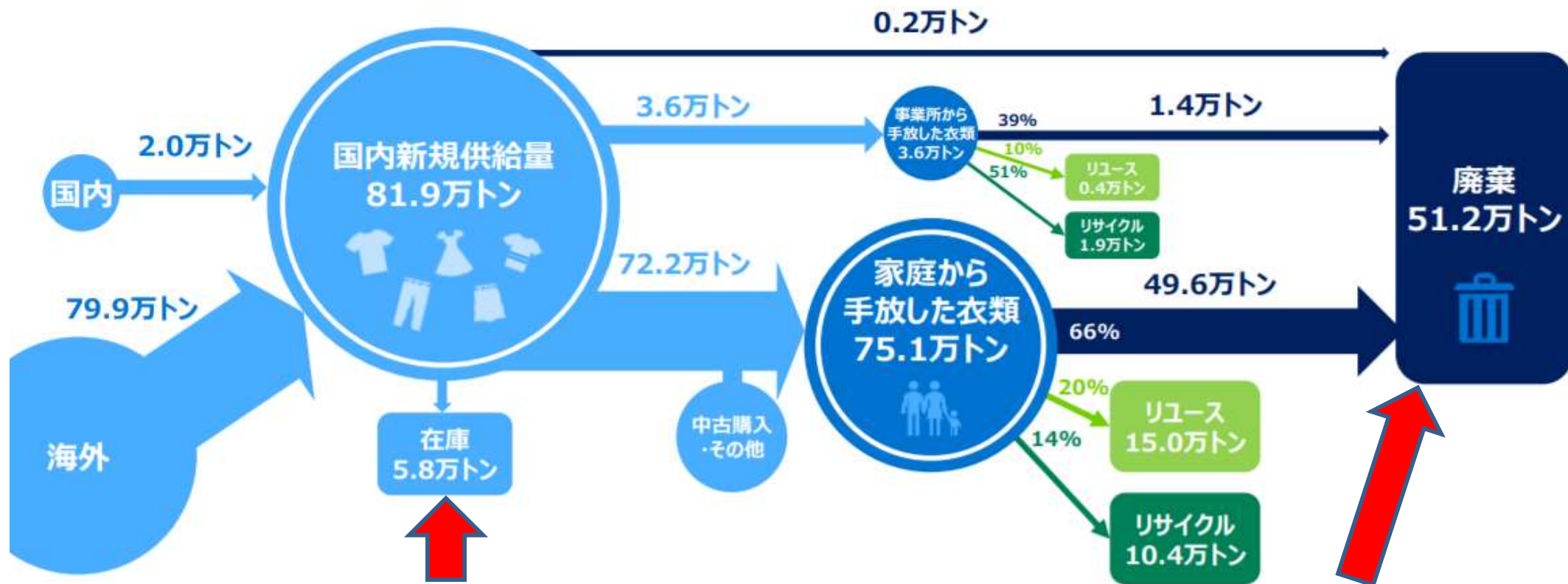
浅利美鈴^{1*}、西本早希²、安藤悠太³、
奥野真木保²、矢野順也⁴、酒井伸一⁴

環境と安全/12巻 (2021) 1号

<https://doi.org/10.11162/daikankyo.20G0901>

衣類も「もったいない」

2020年版 衣類のマテリアルフロー



在庫も
そこそこある

手放した衣類の
うち65%が廃棄



リサイクル活動

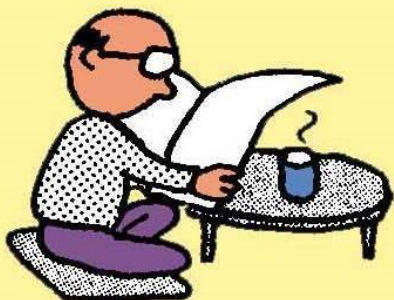
「元栓を閉めた方が早道じゃないか？」

High Moon

1時間



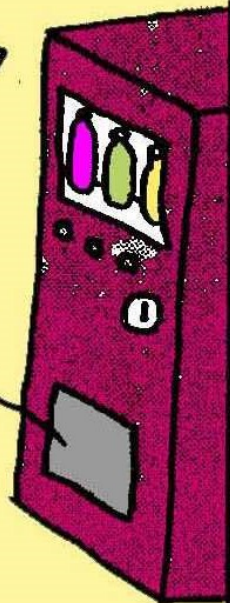
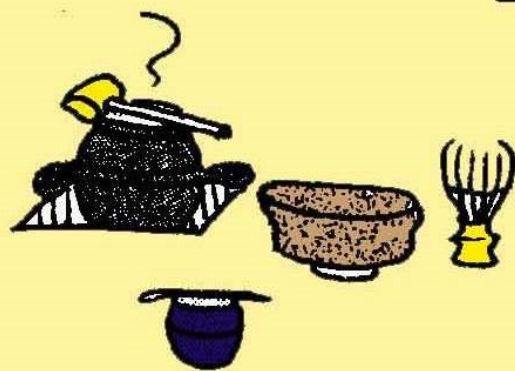
20分



5分

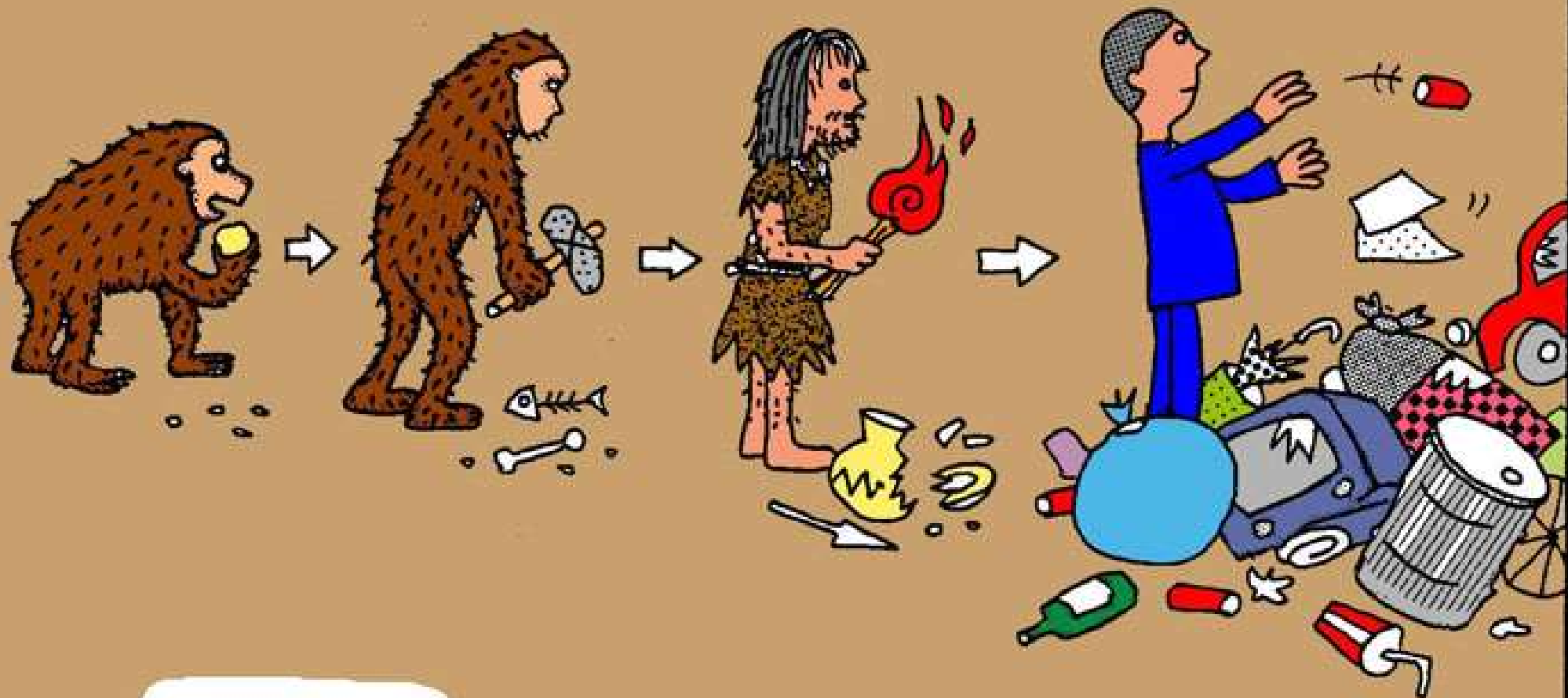


10秒



お茶の時間

High Moon



じんるい
塵類の誕生

High Moon

エコ～ると京大

・2013年6月にサステナブルウィークとしてスタート <https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

こんちきジーズ

祇園祭や京都の文化を通じて、SDGsや持続可能性を考え深めます。



京都大学プラ・イド革命

マイボトル普及実験、プラスチックとの付き合い方を考えるイベントを実施。



今日も明日もSDGs

毎朝30分、SDGsを自分事化、新たな視点から学ぶ配信番組を作成!



食のバラバラポ

食材の捨てられがちな部分の価値や、捨てずに活用する方法をとことん研究!



小中高生向け教育プログラム

将来のリーダーとなる若者たちと、SDGsを勉強&実践中!



初夏の陣 オープンラボ

多様な先生方に「持続可能性」をどのように考えているのか聞くオンラインやオンサイトイベントを実施。



持続可能な地域づくり

京都市京北地域などを中心に全国の中山間地域を持続させるため、万博に向けた取り組み!



ブルーシーフード

豊かな海を守るための活動。オリジナル商品開発も。



Kistory

たんずに語る着物を着ただけ、学生や留学生が思いと共に受け継ぎます。



シンポジウム

年に数回、時計台やオンラインを用いて、大きな学びと交流の企画を実施。



勉強会やワークショップ

学生・教員・様々な企業・団体と、SDGsについて勉強&議論します!



研修旅行

国内外のレアな施設や地域での学びや交流が交わる活動のエネルギーに!



吉田南～南部ルートPart.1 (吉田南構内正門～吉田南総合図書館)



吉田南～南部ルートPart.2 (シェルピンスキーの森)



吉田南～南部ルートPart.3 (吉田南2号館～京大病院)



京都大学SDGsマップ

「こんな活動があるんだ」「こんな先生がいるんだ!」これらSDGsなど、様々な発見があるはずです。エコ〜と京大メンバーが盛りだくさんの大冒険! 京都大学SDGsマップ。SDGsの達成は一人ではできません。この「京都大学SDGsマップ」によって、SDGsに関連している人々が活動できる場や人とのつながりが生まれ、活動が広がりますように。大冒険の中で紹介した活動に参加したい!先生と話したい!と遊んだ人は、エコ〜と京大まで! → 案内: 動画: 検索: komagame@heart.ssr.kyoto-u.ac.jp

北郷② **辻村英之 教授** 農学研究所
タンパク質・アミノ酸の代謝に関与する酵素の機能や働きを明らかにする。その研究成果は、食品・医薬品の開発に貢献しています。また、SDGsの達成に貢献しています。

北郷③ **赤石大輔 特定助教** フィールド科学教育研究センター
フィールド科学教育研究センターでは、フィールドでの実践的な教育を行っています。また、SDGsの達成に貢献しています。

本郷⑤ **中清和弥 教授** アジア・アフリカ地域研究研究所
アジア・アフリカ地域研究研究所では、アジア・アフリカ地域の発展に貢献しています。また、SDGsの達成に貢献しています。

本郷④ **高合恵美子 教授** 文学研究科
文学研究科では、文学の発展に貢献しています。また、SDGsの達成に貢献しています。

本郷③ **オープンラボ** ショッピング
エコ〜と京大では、毎年10月に「オープンラボ」を開催しています。

本郷① **レジ袋・弁当** 学生ショップ、中央学生食堂
学生ショップ、中央学生食堂では、レジ袋・弁当の削減に取り組んでいます。

本郷② **京都大学未来フォーラム**
大学と社会との協力・連携を一層高めるため、年2回開催している「京都大学未来フォーラム」を開催しています。

本郷① **小林広英 教授** 水産環境学
国際交流セミナーハウス
国際交流セミナーハウスでは、国際交流の促進に取り組んでいます。

本郷③ **留学生ラウンジ「さすな」**
留学生と日本人学生との交流のためのスペースです。

北郷④ **水の自動販売機** 学生生活支援
エコ〜と京大では、水の自動販売機を導入しています。

本郷③ **エコ〜と京大の拠点・フリマスペース** 学生生活支援
エコ〜と京大の拠点・フリマスペースを開催しています。

本郷② **国際科学イノベーション棟**
国際科学イノベーション棟では、国際科学の発展に取り組んでいます。

本郷① **ブルーシーフード** 学生生活支援
ブルーシーフードを推進し、エコ〜と京大の企業と連携して取り組んでいます。

吉田南① **ウォーターサーバー** 学生生活支援
エコ〜と京大では、ウォーターサーバーを導入しています。

吉田南② **シェルピンスキーの森・フラクタル日よけ**
環境と人間の共生に取り組むフラクタル日よけです。

吉田南③ **湯井敏 教授** 人間・環境学研究所
人間・環境学研究所では、人間と環境の共生に取り組んでいます。

南郷④ **東南アジア地域研究研究所 図書館**
東南アジア地域研究研究所の図書館です。

南郷③ **堀尾隆也 教授** 医学研究科
医学研究科では、医学の発展に取り組んでいます。

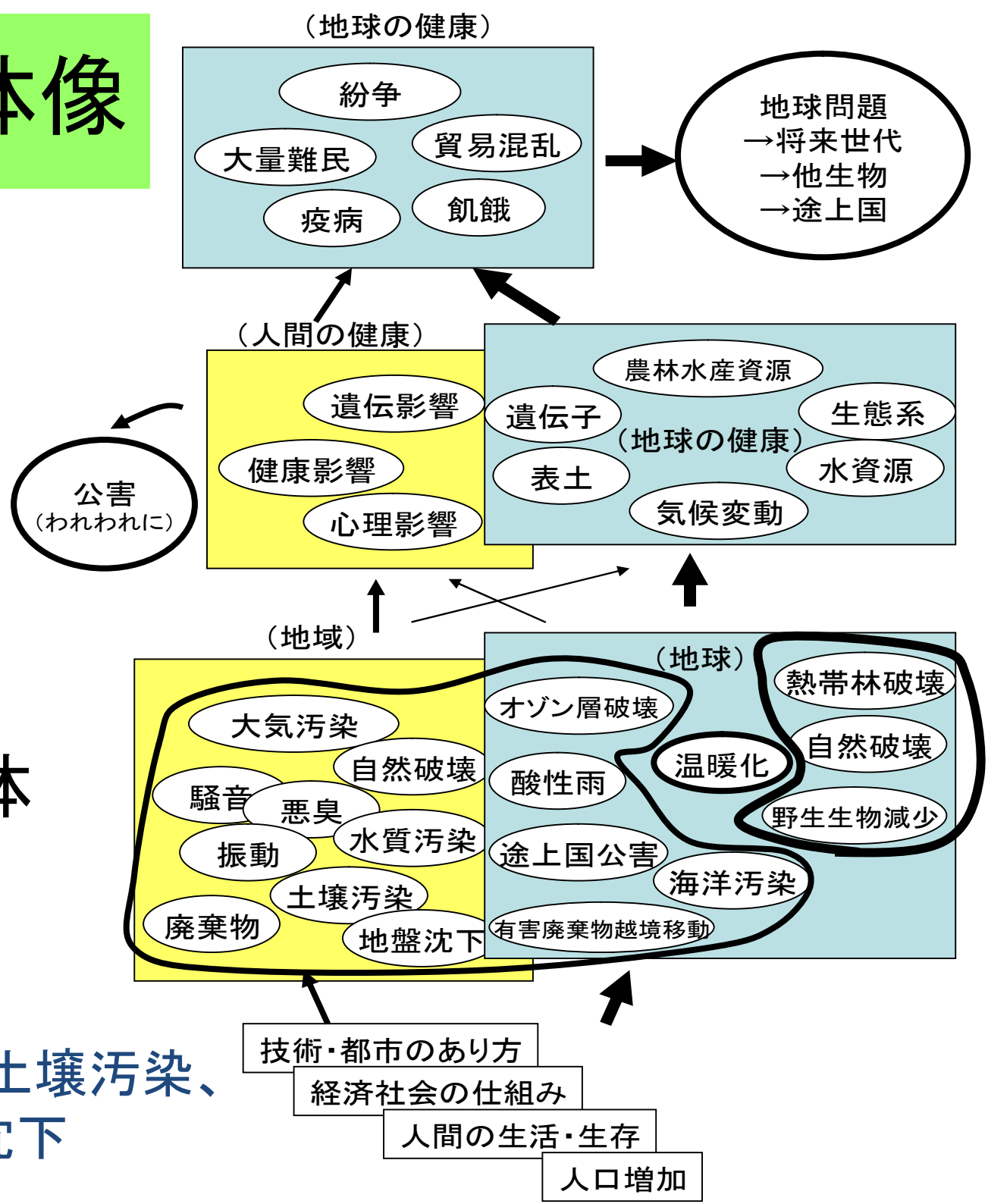
SDGs GOALS

SDGsは、2030年までの国際目標として、国連が2015年に採択した「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の総称です。17のゴール・169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

環境問題の全体像

- 環境問題とは？
- 地域環境問題
 - … 典型7公害※など
- 地球環境問題
 - … 9つの現象の総体
 - … 3つの特徴

※水質汚濁、大気汚染、土壌汚染、悪臭、騒音、振動、地盤沈下



安朱小学校での取り組み開始

①ミニレクチャー

②SDGsノートをつけてみよう！



えすでいーじーず
SDGsノート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年までに世界を豊かに 「持続可能な開発目標」です

ノート記載にあたっての注意点

1. 何かを書いたときは、必ず日付も書いてください。新聞の切り抜きを貼り付けたときや、誰かから話を聞いたときなども、日付を書いておいてください。
(例) 9/4 今日から、食べ残しゼロを始めました。9/5 早くも残してしまいました・・・
2. 目標の順番に記載していく必要はありません。やりやすい行動からクリアしていったり、難しい行動から挑戦していったり、一通り行動してみたり、自分のスタイルで取り組んでみてください。
3. どうしても解決のための行動ができないものについては、その目標について調べてみたり、考えてみたりした内容を書いても良いです。
4. 行動してみて疑問に思ったことなども、メモしておきましょう。
5. 正解は1つではありません。他の人が考えないような、ユニークな行動も考えてみましょう！

課題1

課題2

お名前： _____

、ノートを書き始めた年月日： _____

関係する新聞の切り抜きをはったり、調べたことを書いたり、自由に使いましょう。

課題1に、9月末までの課題を
記入。課題2は次回・・・

『普段の生活の中で、実践したこと、新たに知ったことを書く』

名前と今日の日付を書こう！

京都超SDGsコンソーシアム

- ・2019年6月に産学公連携プロジェクトとして開始
- ・コンセプト

1,300年の歴史を持つ京都。
SDGs目標年である
2030年を超えて、
また、17の目標を超えて、
持続可能な社会の在り方を
追及したい。
その想いを込めて、
超SDGsと謳っています。

考え

行動し

発信

SDGs MONDOU 問答

養老 孟司 永田 和宏 山極 壽一

今日も明日もSDGs

30分でSDGsがまる分かり!
YouTubeにてアーカイブ配信中!



ことす KOTOS

2021年8月31日
テレワークエリア
OPEN!

京都里山 サテライトオフィス
SDGs ラボ 入居企業・団体募集!

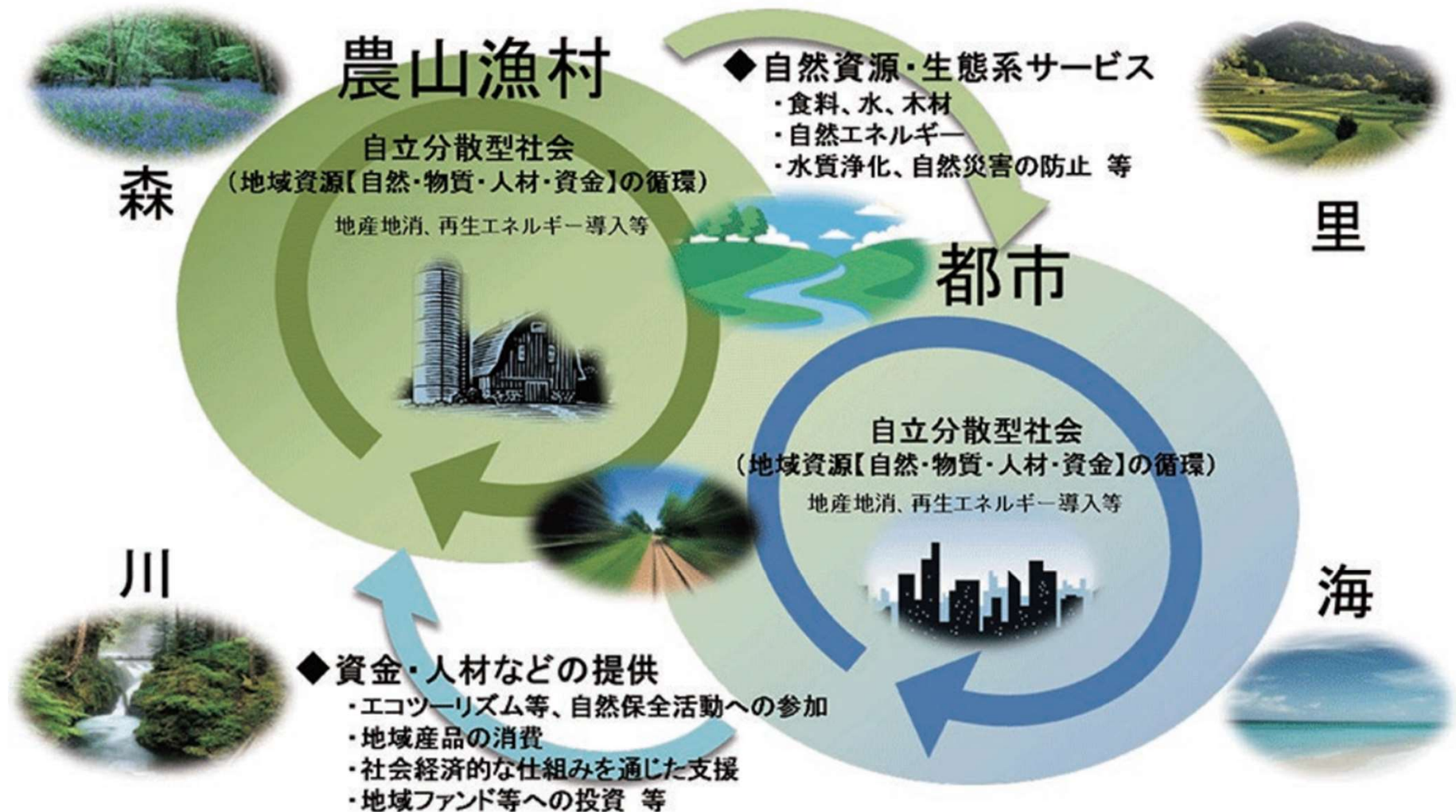
KYOTO SATOYAMA SDGs LAB

SDGs KYOTO TIMES | 🔍

エコ〜ると京大



中山間地域と SDGs・持続可能性 (ローカルSDGs≒地域循環共生圏)



京都・中山間地域(京北)のSDGs実装

- 1300年の文化都市としての歴史を持つ京都は、持続可能性の面でも、国内外から注目される。
- しかし、京都市の中山間地域(京北地域)に目を向けると、**深刻な人口減少・超高齢化・産業衰退に直面**している。
- 京北地区は、平安京造都の木材を供給した伝承をもち、都心部を支える重要な里山である。今、**新たな里山と都市との関係を構築し、京北地域を維持しなければ、次の千年の京都の在り方が危ぶまれる**可能性もある
- そこで、徹底して**地域及び将来世代に寄り添いつつ、幅広い「教育」を核に、産学公連携**で持続可能な地域モデルの構築を目指す。
- **京都で実現しモデルを示さねばならない。**

京北は北山杉の産地として有名



京北未来かがやきビジョン
(2015年策定)

既存目標:5年で150世帯増

⇒現状:**4年で80世帯減**



新目標(仮):5年で
小中学校の生徒倍増 他
(強い関与人口の増加他)



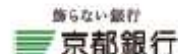
SDGsバレー化を目指して

2021年8月31日
テレワークエリア
OPEN!

京都里山 サテライトオフィス
SDGsラボ 入居企業・団体募集!

KYOTO SATOYAMA SDGs LAB

私たちと一緒に「ことす」にて、持続可能な地域・社会の実現に向けた共創を!



京北商工会

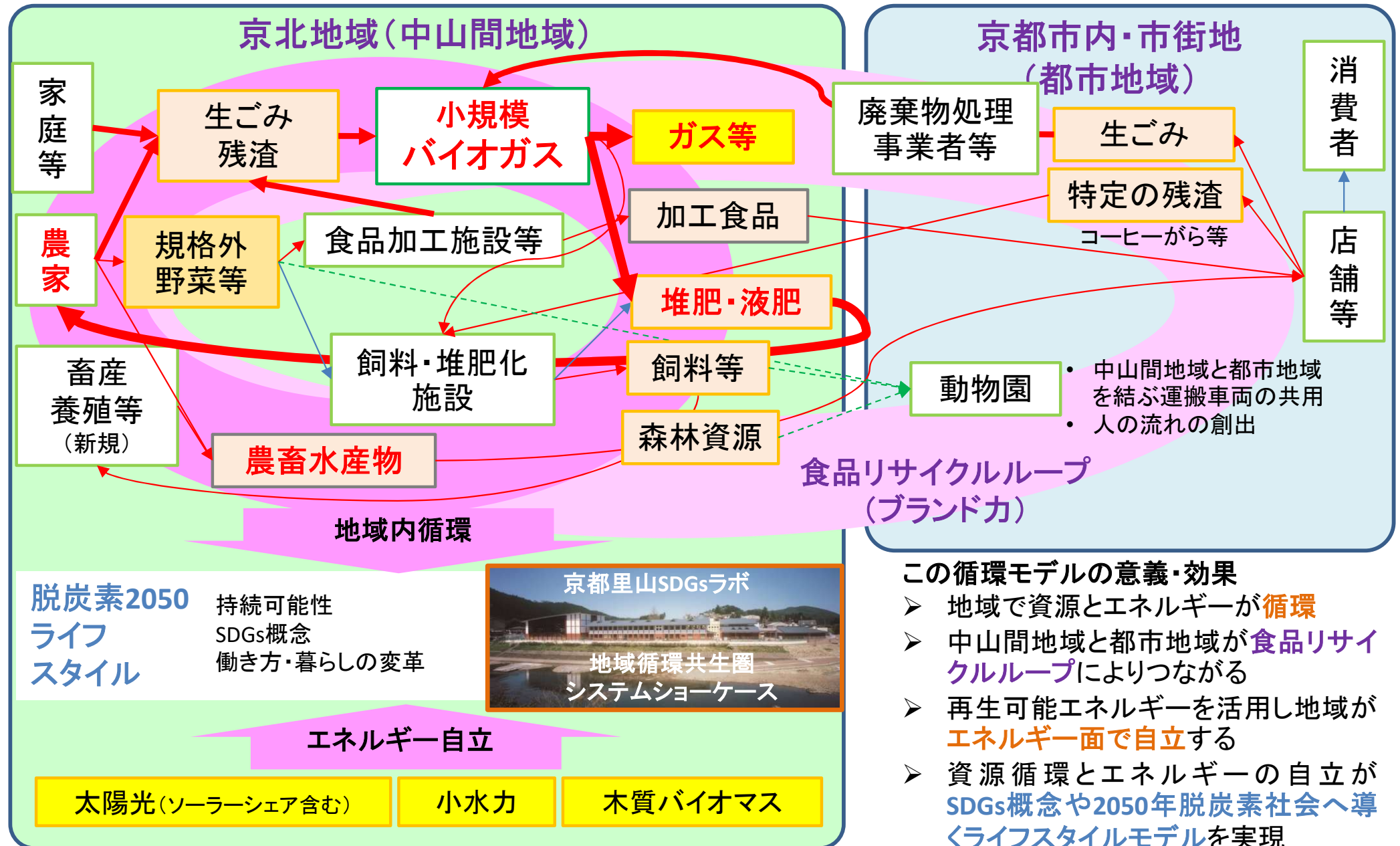


<https://www.kotos-kyoto.jp/>

環境省 令和3年度 脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業(案)

バイオガス化施設のオンサイト利用と農業等との連携を核とした

中山間地域(里山)と市街地を結ぶ多様な地域資源・エネルギーの脱炭素型循環モデル



 連携する主体
 未利用資源
 未利用エネルギー
 価値が高まる生産

この循環モデルの意義・効果

- 地域で資源とエネルギーが**循環**
- 中山間地域と都市地域が**食品リサイクルループ**によりつながる
- 再生可能エネルギーを活用し地域が**エネルギー面**で自立する
- 資源循環とエネルギーの自立が**SDGs概念**や**2050年脱炭素社会**へ導く**ライフスタイルモデル**を実現
- **京都里山SDGsラボ**を拠点として活用し住民との交流や教育を展開

アップサイクルの聖地を目指して

次の100年に向けた棚卸企画！



○和裁・洋裁、木工、伝統工芸等に関する入門から専門教育まで

○男女年代、国籍等に関係なく、機会を
○ハンディキャップのある方も

○収益は、困っている方の応援へ

○着物、陶磁器、木工品等の自然資源製品とプラ等の枯渇性資源、それぞれの得失を理解して、使いこなす
○エネルギーは地産地消で自立



○森里海の環境・自然から学ぶ
○地域に根差した知恵(在来知)を活用

18番目のゴールは？！
「文化」

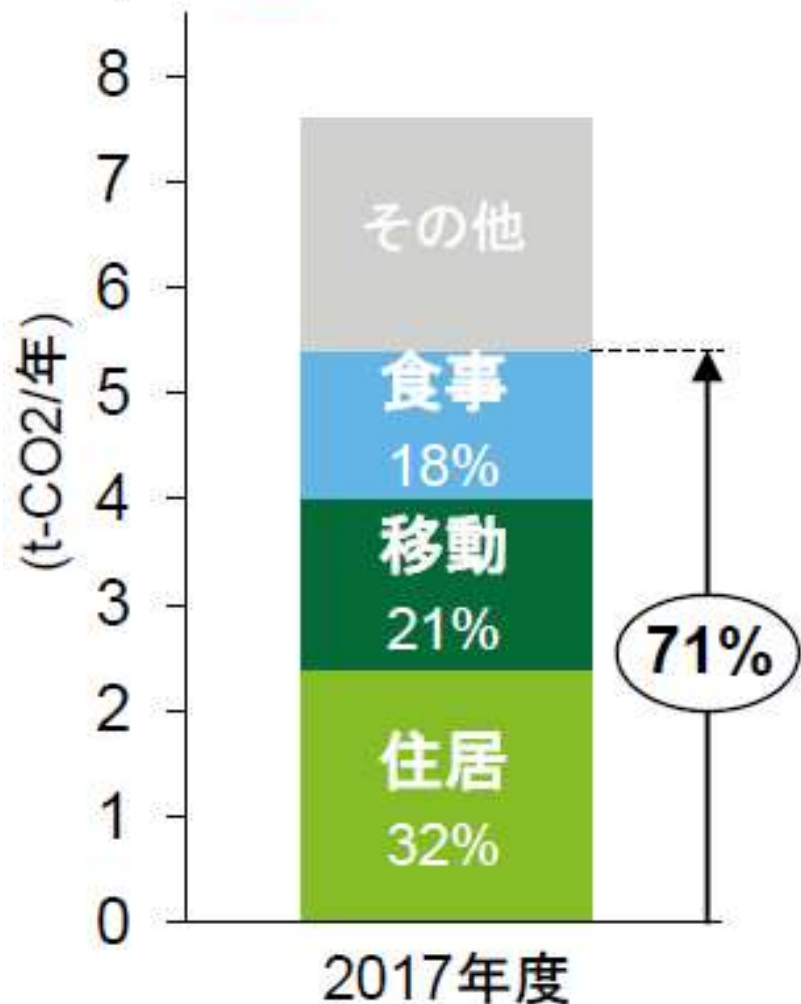
○資源(ごみ)の目利き育成(伝承&ハイテク)
○徹底して資源を活用！さらには新しい価値・命を
○レジリエントな人・もの・価値の循環へ



カーボンゼロ時代のライフスタイルへ

直接的・間接的に1人当たり
年間 **8tCO₂**の排出に関係

「食」「住居」「移動」における
脱炭素ライフスタイルの取組例



食事

- 食品ロスの削減
- 野菜を増やした食生活

移動

- 公共交通機関の活用
- エコドライブの実施
- エコカーの活用
- テレワークの推進

住居

- 断熱リフォームの実施
- ZEHへの住替え
- 再エネ電気への切替え

その他様々な取組が存在

出所: 地球環境戦略研究機関(2020)「1.5°Cライフスタイル —脱炭素型の暮らしを実現する選択肢」等を参考に作成

脱炭素型ライフスタイル・イノベーションシンポジウムにおける環境省発表資料(2020年3月)

2021年度12~3月
毎月第4土曜
14-16時

京都
めぐる

SDGs 問答

大好評のSDGs問答企画を、特別テーマでシリーズ展開。
持続可能な社会の構築に向けて「循環(めぐる仕組み)」の実現は待ったなし。
全国・全世界で、さまざまな挑戦が始まっていますが「もやもや」も蓄積中！
多様なゲストスピーカーとともに、地域や世代を超えて問答しませんか？

12/25、1/22、2/26、3/26

オンライン&オンサイト（京都里山SDGsラボ「ことす」）【参加無料】

京都の京北地域では「ごみ」を「資源」に変える様々な取り組みを始めています。毎回、取り組みや進捗を、地域の若者(小中高大生)がご紹介。若者からの真っすぐな目線は本企画の醍醐味の一つ。乞うご期待！



← お申込みは、こちらから → <https://forms.gle/GCuyEPov7QEzVr4S7>

(可能な回だけの参加もOK; 見逃し配信あり)

※オンサイトは定員50人(10~17時は京北めぐる市開催)

主催 & お問い合わせ

びっくりエコ研究所「問答」
事務局

TEL : 075-753-5922
(平日10~17時)

メール : mezase530@gmail.com

SDGs KYOTO TIMES | 🔍

本事業は、令和3年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業(多様な地域資源の有効活用に資する技術実証事業)「生ごみバイオガス化施設のオンサイト利用による脱炭素型農業を核とした里山・都市循環」の事業の一環として実施するものです。

2021年度12~3月毎月第4土曜
14-16時

京都
めぐる

SDGs 問答

大好評のSDGs問答企画を、特別テーマでシリーズ展開。持続可能な社会の構築に向けて「循環（めぐる仕組み）」の実現は待ったなし。全国・全世界で、さまざまな挑戦が始まっていますが「もやもや」も蓄積中！多様なゲストスピーカーとともに、地域や世代を超えて問答しませんか？

2022年2月26日(土)

14:00~16:00

オンライン&オンサイト

(京都里山SDGsラボ「ことす」) 【参加無料】

様々な方をスピーカーとしてお招きし「持続可能性・SDGs」をテーマに、とことん問答する人気企画。

12月からは毎月4回連続で「めぐる」をキーワードに京北よりお送りします。

第9回目となる今回は、メインゲストにごみ研究の牽引者の酒井伸一先生、環境政策の牽引者の土居健太郎さんらをお招きし、オンサイトとオンラインにて実施します。京都の京北地域では「ごみ」を「資源」に変える様々な取り組みを始めています。毎回、取り組みや進捗を、地域の若者（小中高大生）がご紹介。若者からの真っすぐな目線は本企画の醍醐味の一つ。乞うご期待！
※コロナ禍の状況により変更の可能性あり

主催 & お問い合わせ

びっくりエコ研究所「問答」事務局

TEL : 075-753-5922

(平日10~17時)

メール : mezase530@gmail.com

主催:びっくりエコ研究所、京都超SDGsコンソーシアム

「めぐる」の先端や、 その先を求めて



酒井伸一

ごみ研究の牽引者。ダイオキシンや食品ロス、プラスチック問題など、難題に対峙しながら日本の廃棄物・循環研究と政策をリード。



土居健太郎

環境省環境再生・資源循環局次長。厚生省入省後、廃棄物処理法、容器包装、自動車リサイクル法、温暖化対策普及啓発などを担当。



進行: 浅利美鈴

ごみと環境教育に実践的に取り組む京都大学准教授。びっくりエコ研究所理事。



←お申込みは、こちらから→<https://forms.gle/GCuyEPov7QEzVr4S7>
(全回一度に申し込み可；可能な回だけの参加もOK；見逃し配信あり)

※オンサイトは定員50人（10~17時は京北めぐる市開催）

SDGs KYOTO TIMES | 🔍

本事業は、令和3年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業(多様な地域資源の有効活用に資する技術実証事業)「生ごみバイオガス化施設のオンサイト利用による脱炭素型農業を核とした里山・都市循環」の事業の一環として実施するものです。

ハイムーン展2022

～ことす丸ごとSDGsジャック～



～2022年3月末（予定）／入場無料・イベント時以外要予約

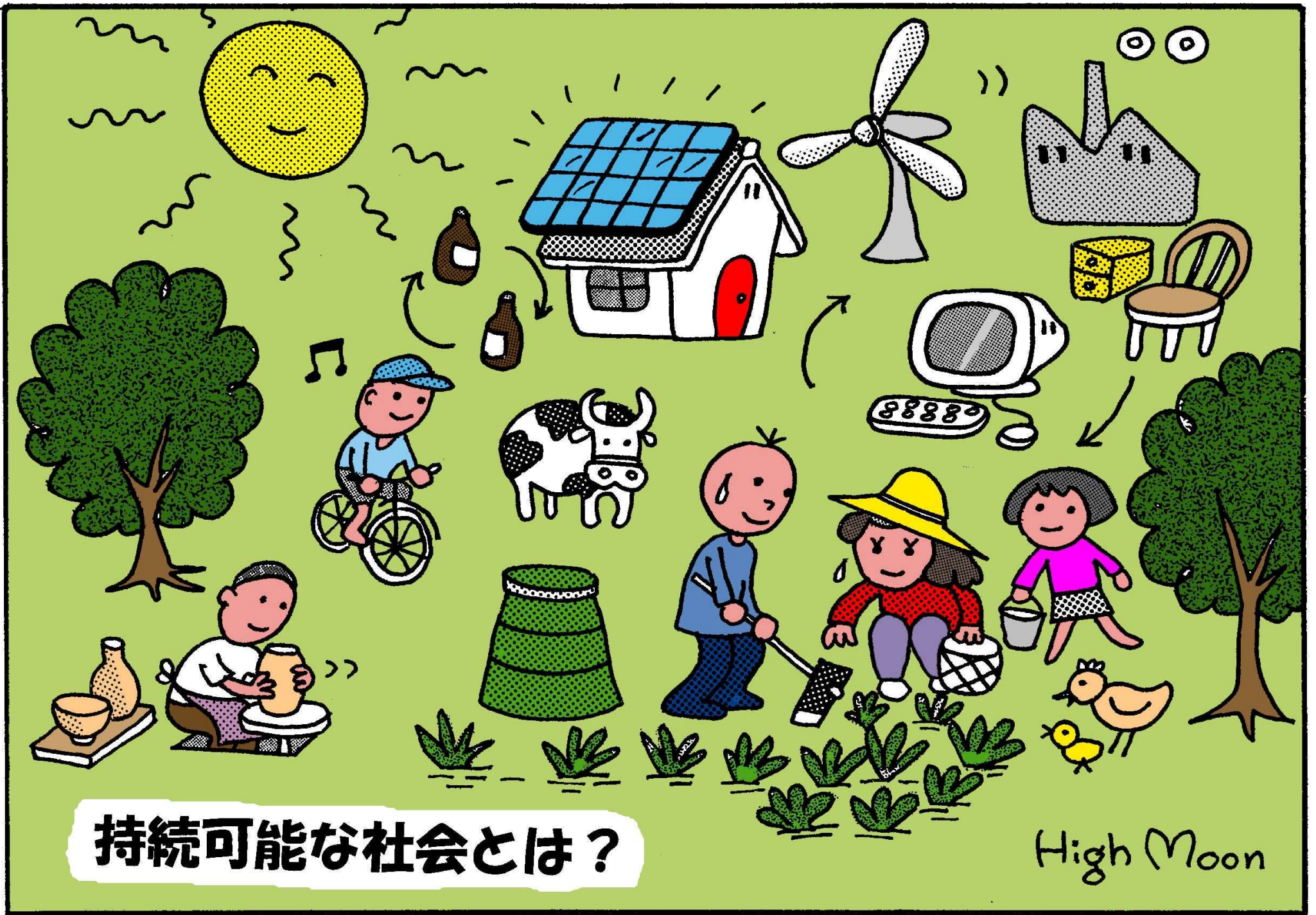
SDGs未来都市京都 記念イベント／サイエンスアゴラ in 京都

第5回京都大学“超”SDGsシンポジウム

「持続可能性の自分ごと化」

2022年3月7日（月）～2022年3月13日（日）

- ・主催 : 京都大学（地球環境学堂、調和ある地球社会研究ライトユニット、環境安全保健機構附属環境科学センター、エコ～ると京大 ほか）
- ・共催 : 京都超SDGsコンソーシアム（京都大学、京都市、日本たばこ産業、安田産業、リコー、ソフトバンク、ecommit、セブン&アイ・ホールディングス、三洋化成工業、日本マクドナルド、国中環境開発、タカラレーベン、エフピコ、大和リース、ミツカンホールディングス 他）
国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） ほか
- ・後援・協力 : （公社）2025年日本国際博覧会協会 ほか
- ・オンサイト : 京北SDGs里山ラボ「ことす」 ほか（コロナ禍の状況を見つつ、対策を万全に行いつつ、定員を設けて実施予定です）
- ・オンライン : zoomウェビナーやFacebook、その他SNSを利用して発信予定です。
- ・企画 : SDGsゲームショー、アップサイクル展示&ショー「ことすコレクション」
みんなで万博のレガシー作りを！、SDGs教育プロジェクト ほか



持続可能な社会とは？

High Moon